

旭公民館だより

発行 令和6年12月
旭公民館
館長 伊吹公雄
電話 45-5903
FAX 45-5903

常連さんも初めての方も
大いに笑っていただきました

第拾参回 旭寄席

11/24(日) 来場者250名

旭寄席実行委員会(会長=佐藤幸男)主催による旭寄席が開催され、市内外から訪れた観客は、プロの落語家の軽妙な話術に魅了されていました。

前回5月に続いて今回11月、年2回の開催となると前売り券の売れ行きがどうかなどの心配も杞憂に終わり、常連さんも多くなり旭寄席も皆さん方にかかなり浸透してきたと感じています。

今後も5月・11月を定例化できるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

笑福亭恭瓶さんは、古典落語「手水廻し(ちょうずまわし)」を披露。



手水とは昔の大阪の方言でタライ(洗面器)に水を入れたもので、その意味を知らない田舎の宿屋の者が、旅人とんちんかな対応をする姿を面白おかしく演じて、観客の笑いを誘っていました。



露の吉次さんは、古典落語「兵庫船」を披露。

旅の途中に船に乗り込んだ旅人が、沖で遭遇したサメに襲われそうになり、船頭とのやり取りやサメの様子を身振り手振りで大げさに表現して、会場を盛り上げていました。



笑福亭仁福さんは、「いらちの愛宕詣り」を披露。

あわて者の男が愛宕山にお参りしようとして巻き起こすドタバタ劇を演じたもの。

ひょうひょうとした語り口で、つかみどころがない様が、妙におもしろおかしくて、みなさん思わず笑っておられました。

仁福さんの味わいがでていて、とても良かったです。毎度おおきに。

現在役員の中では、大阪の寄席「天満天神繁昌亭」へ行ってみようという話が持ち上がっています。というのも、旭寄席のとりまとめ役である笑福亭恭瓶さんは、毎回出演者の落語家さんの人選はもちろん、当日大阪から府中まで自分の車を運転し三人一緒に来ていただいています。そういうことで大変お世話になっている恭平さんを応援しようと、落語を聞き恭平さんの慰労会を行うツアーを組む段取りが、ただ今進行しています。(裏面へ)



天満天神繁昌亭



クリスマスデコレーションでロビーが華やかに変身！！

たんぽぽクラブ（代表＝橘高理恵）の呼びかけにより、旭公民館の玄関・ロビーがクリスマスに合わせてキレイに飾り付けられ、来館者からも好評をいただいております。



天井まで飾ってくれました

われた行事で、今回は20名以上の旭小学校の児童が参加してくれました。「私がする」「僕がする」「私もやりた〜い」etc.飾りつけするのも競争で、あっという間に出来上がりました。

飾り付けが終わった後は、役員さんが準備してくれた炊き込みご飯と豚汁をみんなでいただき、終了となりました。

子どもたちにとって、ほんのわずかでも思い出として記憶に残ることがあれば、公民館長としても幸いです。ありがとうございました。

感謝

旭小学校の児童たちからお礼の手紙をいただきました



4年生からの手紙



2年生からの手紙



旭小学校の2年生が生活科の授業で11/19(水)に旭公民館を訪れた際に、「お世話になりました」、そして、4年生も「地域の皆さんにありがとう」ということで、お礼の手紙が旭公民館へ届きました。

手紙を見ながら、「人から喜ばれる仕事ってほんと良いなあ〜」とつくづくと思いました。

公民館の仕事は昔からやってきりなし、やらんでもきりなしと言われてきましたが、これからも頑張っていく元気が湧き起こり感謝です。

旭小5年生絵画展示

題材

「言葉から思いを広げて」

12/20(金)～1/31(土)

旭公民館 1階展示スペース

